

＜参考＞ バス路線の休廃止申し出への対応

○ バス路線の休廃止に伴い公共交通が空白となる地域への

代替交通確保のための支援の考え方について

バス路線の休廃止に伴い公共交通が空白となる地域については、地域との連携を図りながら、地域の実情に即した代替交通機関の確保について、一定の財政負担により、支援を行う必要があると考える。

このため、地域属性や利用状況等の助成対象要件に基づき、代替交通の必要性を判断し、需要に応じた必要最小限の代替交通を確保するため、運行形態の見直しを地域や交通事業者と協議し、定期的に検証・見直ししながら、支援を行っていく。

1) 助成対象要件

バス路線の休廃止申し出を受けて、代替交通確保のための助成対象要件の適用判断を行う。

- ① 路線の休廃止で新たに公共交通空白地（バス停や鉄道駅から1 km以上離れる地域）が生じる地域で、かつ、高齢化が進行し人口が減少している地域を対象とする。
- ② 対象路線については、国庫補助基準に準拠し、最低1日当たり3往復以上の運行回数があり、1日当たりの輸送量が15～150人ある路線とする。
- ③ 助成については、生活交通（通院、通学等）の確保のため、平日・土曜の1日概ね15往復以下の運行を対象とする。

なお、日祝日について、平日と遜色のない相当数の利用がある路線や、行政計画等において地域振興や観光振興が位置付けられた地域で、地域住民等の取り組みが行なわれており、かつ、路線休廃止によってそれらの取り組みができなくなるおそれがある地域については、日祝日も助成対象とする。

2) 支援の内容

- ① 複数市町村を走る等の条件で国庫補助を受ける路線へ、本市の支援が必要と認める場合は、国庫補助ルールに基づき支援する。
- ② 既存の交通事業者により路線を存続する場合は、事業者の申請してきた経費と国庫補助基準による経常経費のいずれか少ない額と経常収益との差額を支援する。
- ③ 既存の交通事業者が路線存続を行わない場合や、路線確保が困難な場合は、地域公共交通会議の合意による参入要件の緩和を受けて、タクシー事業者等が新規参入。助成については、国のガイドライン及び既存事例を参考に、地域、事業者、行政で支援の枠組みを定める。

3) 運行形態の見直し

- ① 地域・事業者・行政で協議の場を設置する。
- ② 地域の状況へ配慮しながら、需要に応じた必要最小限の代替交通を確保する。
- ③ 定期的に助成対象要件や運行廃止を含め、運行形態の検証・見直しを実施する。

① 今宿姪浜線 【代替交通の確保】

＜休廃止申し出の経緯＞

平成17年10月 昭和自動車（株）が西区を走る6路線の休廃止申し出
 （休廃止予定日：平成18年11月1日）

→ 休廃止された場合、西区今宿上ノ原等で新たに公共交通空白地が生じる。

○ 地域の状況

（平成17年国勢調査結果）

	今宿上ノ原		
人口	1,125人	※ 大谷バス停周辺地区	人口：約230人 合計：1,355人
高齢化率	32.6%		

＜申し出への対応＞

- ・地域、事業者、市による協議会を開催し、運行内容、利用促進策について協議。
 ※ 今宿姪浜線乗合マイクロバス連絡協議会（地域公共交通会議幹事会）
 ：平成19年9月28日設置
- ・複数の廃止路線を統合した形の路線を新設し、新規事業者（タクシー事業者）を選定。
- ・平成18年11月から1年間の社会実験後、平成19年11月に代替交通本格運行開始。
- ・平日及び土曜日の運行経費を補助対象とし、経費と収入の差額を地域・市が支援。

＜路線図＞



＜運行内容＞

休廃止申し出時		現在	
運行事業者	昭和自動車（株）	運行事業者	（株）姪浜タクシー
路線	今宿野外活動センター～今宿 今宿野外活動センター～今宿～野北 姪浜～今宿～前原	路線	今宿野外活動センター～今宿駅前 ～姪浜駅北口（約10km）
車両	中型バス	車両・乗務員	マイクロバス1台・乗務員2人
運行時間帯	始発 7:40（今宿野外活動センター発） 最終 18:12（今宿発）	運行時間帯	始発 7:40（今宿野外活動センター発） 最終 18:40（姪浜駅北口発）
運行本数・利用者数	平日 11.5往復・47人/日 土曜日 11.0往復・46人/日 日祝日 11.0往復・35人/日	運行本数・利用者数（21年度）	平日 10.0往復・140人/日 土曜日 10.0往復・118人/日 日祝日 10.0往復・98人/日
収支率	55%（国庫補助別）	収支率（21年度）	83%（全日78%）

※ 平成21年度補助金決算額：1,907千円

② 板屋脇山線 【代替交通の確保】

<休廃止申し出の経緯>

平成19年3月 西日本鉄道(株)が那珂川支線の廃止申し出
(休廃止予定日:平成20年4月1日)

→ 廃止された場合、早良区板屋で新たに公共交通空白地が生じる。

○ 地域の状況

(平成17年国勢調査結果)

	板屋	
人口	86人	※ 福祉施設の入所者を除く場合 人口:約30人 高齢化率:約80%
高齢化率	27.9%	

<申し出への対応>

- ・ 地域、事業者、市による協議会を開催し、運行内容、利用促進策について協議。
※ 板屋脇山線乗合タクシー連絡協議会(地域公共交通会議幹事会):平成20年1月23日設置
- ・ 地域との協議の結果、那珂川町方面への路線から脇山方面への路線に変更。
- ・ 需要や道路状況から、乗合タクシーによる運行に変更。
- ・ 平成20年4月に代替交通運行開始、平成20年8月に事前予約制を導入。
※ 事前予約制:定められたダイヤのうち事前に予約のあった便のみを運行。
- ・ 経費と収入の差額を市が支援。

<路線図>



<運行内容>

休廃止申し出時		現在	
運行事業者	西日本鉄道(株)	運行事業者	飯倉タクシー(株)
路線	板屋 ~ 那珂川営業所(那珂川町)	路線	板屋ふるさと館前 ~ 脇山小学校前(約12km)
車両	中型バス	車両・乗務員	乗合タクシー1台・乗務員1人
運行時間帯	始発 7:24(板屋発) 最終 15:28(那珂川営業所発)	運行時間帯	始発 9:10(板屋ふるさと館前発) 最終 16:40(脇山小学校前発)
運行本数・利用者数	全日 4.0往復・2.3人/日	運行本数・利用者数(21年度)	月曜日・水曜日・金曜日 2.0往復(事前予約制) ・98人/年
収支率	—(市委託路線)	収支率(21年度)	19%

※ 平成21年度補助金決算額:203千円

③ 志賀島島内線 【代替交通の確保】

<休廃止申し出の経緯>

平成19年10月 西日本鉄道（株）が志賀島島内線の廃止申し出
 （休廃止予定日：平成20年11月1日）

→ 廃止された場合、東区勝馬、弘地区で新たに公共交通空白地が生じる。

○ 地域の状況

（平成17年国勢調査結果）

	勝馬	弘	—	—	—	合計
人口	274人	411人	—	—	—	685人
高齢化率	26.3%	28.5%	—	—	—	27.6%

<申し出への対応>

- ・ 地域、事業者、市による協議会を開催し、運行内容、利用促進策について協議。
 ※ 志賀島地域バス連絡協議会：平成20年4月30日設置
- ・ 勝馬小学校、志賀中学校におけるバス通学に利用。
- ・ 地域は、西戸崎までの運行や西鉄による運行継続を要望。
- ・ 西鉄グループ 西鉄バス宗像（株）の運行により経費を削減。
- ・ 平成20年10月に代替交通運行開始。
- ・ 経費と収入の差額を市が支援。

<路線図>



<運行内容>

休廃止申し出時		現在	
運行事業者	西日本鉄道（株）	運行事業者	西鉄バス宗像（株）
路線	勝馬 ～ 海浜公園西口	路線	勝馬 ～ 大岳・海浜公園西口（約11km）
車両・乗務員	中型バス2台・乗務員2人	車両・乗務員	平日 中型バス1台・乗務員2人 土曜日・日祝日 中型バス1台・乗務員1人
運行時間帯	始発 6:04（勝馬発） 最終 21:01（西戸崎駅発）	運行時間帯	始発 5:55（勝馬発） 最終 21:15（西戸崎駅発）
運行本数・利用者数	平日 14.5往復・134人/日 土曜日 13.5往復・108人/日 日祝日 13.0往復・68人/日	運行本数・利用者数（21年度）	平日 11.0往復・142人/日 土曜日 7.0往復・94人/日 日祝日 7.0往復・67人/日
収支率	28%	収支率（21年度）	36%

※ 平成21年度補助金決算額：12,212千円

④ 西の浦線 【廃止申し出の取り下げ】

<休廃止申し出の経緯>

平成20年3月 昭和自動車(株)が西の浦線の廃止申し出
(休廃止予定日:平成21年4月1日)

→ 廃止された場合、西区西浦、宮浦、小田、今津で新たに公共交通空白地が生じる。

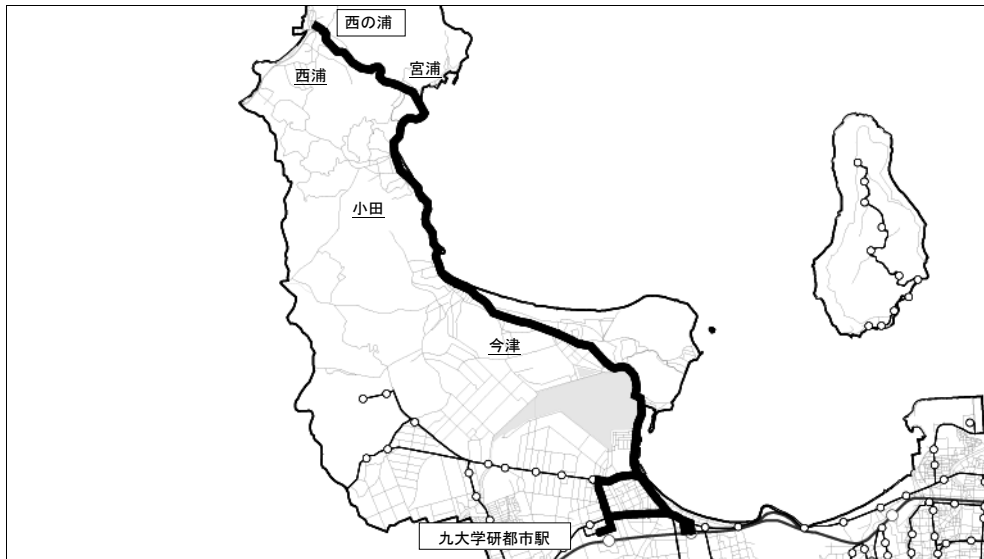
○ 地域の状況 (平成17年国勢調査結果)

	西浦	宮浦	小田	今津	—	合計
人口	1,125人	840人	655人	4,056人	—	6,676人
高齢化率	28.7%	30.6%	26.4%	39.3%	—	35.2%

<申し出への対応>

- ・ 地域、事業者、市による協議会を開催し、運行内容、利用促進策について協議。
- ・ 平成20年7月に減便。
- ・ 減便により収支改善した結果、平成20年9月に廃止申し出を取り下げ。
- ・ 昭和自動車(株)による運行継続。

<路線図>



<運行内容>

休廃止申し出時	現在
運行事業者 昭和自動車(株)	運行事業者 昭和自動車(株)
路線 西の浦 ~ 九大学研都市駅	路線 西の浦 ~ 九大学研都市駅 (約14km)
車両 中型バス	車両 中型バス
運行時間帯 始発 5:55 (西の浦発) 最終 23:20 (九大学研都市駅発)	運行時間帯 始発 5:54 (西の浦発) 最終 21:30 (九大学研都市駅発)
運行本数・利用者数 平日 28.5往復・559人/日 土曜日 21.0往復・425人/日 日祝日 21.0往復・258人/日	運行本数・利用者数 (21年度) 平日 14.0往復・413人/日 土曜日 10.0往復・279人/日 日祝日 10.0往復・232人/日
収支率 68%	収支率 (21年度) —

⑤ 脇山支線 【代替交通の確保】

＜休廃止申し出の経緯＞

平成21年3月 西日本鉄道（株）が脇山支線の廃止申し出
 （休廃止予定日：平成22年4月1日）

→ 廃止された場合、早良区飯場、曲渕、石釜、西、椎原で新たに公共交通空白地が生じる。

○ 地域の状況 (平成17年国勢調査結果)

	飯場	曲渕	石釜	西	椎原	合計
人口	87人	104人	750人	759人	279人	1,979人
高齢化率	33.3%	33.7%	29.7%	25.0%	31.2%	28.5%

＜申し出への対応＞

- ・地域、事業者、市による協議会を開催し、運行内容、利用促進策について協議。
- ※ 早良区南部地域バス連絡協議会：平成21年7月28日設置
- ・曲渕小学校、脇山小学校、早良中学校におけるバス通学に利用。
- ・地域は、早良営業所までの運行や西鉄による運行継続を要望。
- ・平成22年4月に代替交通運行開始。
- ・経費と収入の差額を市が支援。

＜路線図＞



＜運行内容＞

休廃止申し出時		現在	
運行事業者	西日本鉄道（株）	運行事業者	西日本鉄道（株）
路線	曲渕 ～ 陽光台 ～ 早良営業所 椎原 ～ 脇山小学校前 ～ 早良営業所 椎原 ～ 脇山小学校前 ～ 陽光台 ～ 早良営業所	路線	曲渕 ～ 陽光台 ～ 早良営業所 椎原 ～ 脇山小学校前 ～ 早良営業所 曲渕 ～ 陽光台 ～ 脇山小学校前 ～ 椎原 (約17km) ※重複区間を除く
車両	平日 中型バス2台・乗務員3人 土曜日・日祝日 中型バス2台・乗務員2人	車両	平日 中型バス2台・乗務員2人 土曜日・日祝日 中型バス1台・乗務員1人
運行時間帯	始発 5:54 (曲渕発) 最終 21:38 (早良営業所発)	運行時間帯	始発 6:15 (曲渕発) 最終 20:56 (曲渕発)
運行本数・利用者数	平日 22.0往復・214人/日 土曜日 21.0往復・125人/日 日祝日 19.5往復・145人/日	運行本数	平日 16.0往復 土曜日 9.0往復 日祝日 9.0往復
収支率	21%	収支率 (21年度)	—

⑥ 金武線・橋本線 【代替交通の検討中】

<休廃止申し出の経緯>

平成22年3月 西日本鉄道(株)が金武線・橋本線の廃止申し出
(休廃止予定日:平成23年4月1日)

→ 廃止された場合、西区飯盛、吉武で新たに公共交通空白地が生じる。

○ 地域の状況

(平成17年国勢調査結果)

	飯盛	吉武	—	—	—	合計
人口	551人	716人	—	—	—	1,267人
高齢化率	31.0%	34.1%	—	—	—	32.8%

<申し出への対応>

- ・ 地域、事業者、市による協議会を開催し、運行内容、利用促進策について協議。
- ※ 金武・橋本地域バス連絡協議会:平成22年9月6日設置
- ・ 平成23年4月1日からの代替交通の運行へ向けて、運行内容等について検討中。

<路線図>



<運行内容>

休廃止申し出時		代替交通検討中
運行事業者	西日本鉄道(株)	
路線	(橋本線) 金武営業所 ~ 橋本駅・野方 ~ 姪浜駅南口・国立医療センター (金武線) 四箇田団地 ~ 天神	
車両	大型バス	
運行時間帯	(橋本線) 始発 6:15 (金武営業所発) 最終 19:56 (国立医療センター発) (金武線) 始発 7:30 (四箇田団地発) 最終 20:23 (天神発)	
運行本数・利用者数	(橋本線) 平日 7.5往復・102人/日 土曜日 5.5往復・83人/日 日祝日 5.5往復・44人/日 (金武線) 平日 4.0往復・33人/日 土曜日 3.0往復・28人/日 日祝日 3.0往復・15人/日	